

「やはり富士山はスゴイです！」

7月1日、富士宮村山浅間神社の開山祭に首都圏会（コノハナ会）から19名が参加しました。

「平成版富士講」よろしくお江戸は浜松町北口駅前から出発、富士宮浅間神社での神事（地元小学生の滝籠り、京都聖護院修験僧による登山道綱きり、同じく護摩炊きに参加、体験）やイギリス大使館招待のセレモニーを見学、昼食後はコノハナサクヤ姫伝説のある忍野八海へと向かうおよそ12時間の行程です。

貸切バスの乗客と云えば首都圏会員、炎立グループ、ちか組織、港区住民の方々とベビーカー1台、車椅子1台…海外出展前の禊、5年ぶりの外出、難病克服、再始動の夢等々それぞれの思い、願いを胸に秘めながらも、初幹事のもとお付き合いくださり、珍道中になったもののそれぞれの記念日になったことも確かなようです。

さて、異業種、3世代交流の場となった一行なのですが、本年度は富士山世界文化遺産登録ということで直会にご遠慮し、地元の方々との交流が如何にと案じていたところ、「地元中学生からインタビューを受けた」「滝籠りの子ども達に話しかけた」「地域ぐるみで守る大切な神事だと肌で感じた」等々の報告を聞き、安堵した次第です。

また、「空気の清浄さから身が清められる思いがした」と富士山の懐に抱かれた素直な感想もあり、それぞれの富士山、それぞれの出会い、それぞれの感動、それぞれのやさしさ、それぞれの声かけ、手助け、頑張り…皆さまのそれぞれに触れ、心が温った1日でした。

その人本来の優しさや持ち味を引き出してくれる富士山は、やっぱりスゴイです。
来年も是非、ご参加ください。お待ちしております。

末筆となりましたが、書面で皆さまにお礼申し上げます。

文責 塩見 律子